

金沢経済大学同窓会誌

ますな

第6号

1995. 9.

発行所/金沢経済大学同窓会事務局

〒920 石川県金沢市御所町丑10

事務局 TEL (0762) 51-9876 (直通)

大 学 TEL (0762) 52-2236

発行責任者: 中田邦雄 編集発行人: 菅村洋一

同窓会会員 現在 9,405名

北陸経済雑感



星稜女子短期大学教授

奥村 實

最近の日本経済は、分析することも予測することも非常に困難であるといわれている。なにしろ戦後五十年、初めて経験する「デフレ現象」に悩まされているからである。大きな書店で「デフレ経済」に関する本を探したが雑誌はいくつか見つかったものの、専門書らしきものは斉藤精一郎著「デフレの経済学」ただ一冊だけであった。調整インフレを前提として運営されてきた成長志向型環境では企業経営の戦略策定もほぼ計算通りに実行できた。しかし、現実には三年以上にわたる「0%成長」はもはや疑いもなく「デフレ経済」である。この恐るべき「縮み志向」の背景は、昨年の経済白書が指摘するバブル崩壊の痛手にある。バブル形

成によって積み上げられた二千五百兆円の資産(株式・土地など)と崩壊によって消失した一千四百兆円の資産価格。差し引き一千四百兆円のプラスと単純計算できないところに「資産大困日本」の苦悩がある。結局、損失の部分が不良資産として金融機関全体に集約され、経済成長を阻げる大きな要因となっているのである。

さて、「北陸の経済」に目を転ずるとなかなか興味深い状況が判明した。景気判定の尺度として信頼度の高い「日銀短観」(全国九ブロック、三か月ごと)のD・I(業況判断指数)によると、平成元年八月より同三年十一月までの二年半にんと日本一の高い好数値を獲得している。その期間、先端産業として誘致した幾つかの超一流企業の半導体工場のフル稼働、全国的なビル建設ブームによるアルミ産業の超繁忙、爆発的流行を生んだ新合繊使用の繊維産業の大増産など主力産業のそろい踏み活動によって業況日本一を実現した。ところが好邪魔多く、平成五年五月より一転してブームの反動としての生産過剰と円高による採算悪化が表面化し、今日までの二年間、最下位(九位)に転落してしまった。連続一位

の間に、油断・慢心が生じひたすら量の追求に没頭した当然の帰結とも言えよう。しかし悲観することもない。最近発表された平成七年三月決算の「石川県高額所得法人ランキング」では、申告所得総額が前年比7%の増加となっており、新興の産業、企業が続々と登場してきている。世代交代の過渡期なるがゆえの最下位なのであろう。さて、最近の「珍キーワード」に「死産」がある。株式・不動産などの本来の資産に加えて「人材」も「シサン」に加えられたのはとし、終身雇用による高人件費コストを自嘲している意味である。

先日、高岡市で講演をした折、中堅企業の社長からわが社のホープとしてK氏を紹介された。名刺には「取締役営業部長」とあり、金経大時代には野球部で捕手として活躍していたそうだ。いかにも有能なビジネスマンらしく、会社の期待の大きさが感じられ握手する手にも力がこもった。各地で活躍しているO・Bとの出会いほど嬉しいことはない。

この激動の時代こそ「可能性と能力」の発揮のチャンスである。諸兄の活躍を切に祈り、再会を心より期待しております。



金沢経済大学同窓会

会長 中田邦雄

大学の将来ビジョンと同窓会

金沢経済大学の将来について、二十一世紀・大学創設(開学)五十周年を迎える頃の大学を想定してみました。

大学の学部(科)数としては、三〇五の学部(科)を有し、学生数五千〇七千名の中規模大学を考えます。経済学部を中心に長期的視野に立ち、新しい学問領域を開拓する学部(科)が必要であると思います。

加えて、より高い専門性を求める学生・社会人のために大学院(夜間大学院)の設置も求められます。

また、現在設置されている研究所の拡大・充実が求められま

す。新しい時代の先駆者としての人材の育成と未来を創造するシンクタンクとして、世界・地域社会に貢献する研究所でありたいものです。

本学園創設者、故稲置繁男氏の建学の精神「誠実にして社会に役立つ人間の育成」を實踐し、社会に貢献する卒業生を送り出す信頼される大学。立派な人格と新しい実学の学問を備えた人材を育成する大学であります。

これから十数年間は、十八歳人口が減少していきます。「大競争の時代」といわれている波が経済だけではなく、大学にもおよび、将来、大学間競争、学部

間競争が激しくなると思われるます。

それに、就職の厳しい状況がしばらくは続くと思えますから、大学を卒業しても就職の出来ない学生の多い大学の志願者は確実に減ります。対策としては、魅力あるキャンパス、研究・教育に長け、社会に貢献・参画する教員が求められると思います。

この状況を打開するには、中身のある充実した教育(学問)を修めた学生を卒業させることが求められます。そこで、教育(カリキュラム)の充実が求められるのです。

大学の役割には、一つは研究

の役割、二つは専門教育の役割、三つは人間としての教養教育の役割、そして、社会に対するサービス(貢献)の役割です。このように大学の役割には大きなものがあります。

発展する大学は、学生や卒業生の帰属意識が強く、満足感の高い大学であります。

そのためには、同窓会の役割が大きいのです。社会の評価が高く、貢献する大学の将来のために、「ビジョン」を構想し、発言していききたいものです。

同窓会会員としての誇りと自信を持ち、益々の御活躍と御健勝を祈念しております。



金沢経済大学

学長 山村勝郎

き ず な



金沢経済大学同窓生の皆さん、お元気にご活躍のことと思います。

本学を卒業して社会で活躍をしておられる社会人はすでに約九千名に達しています。私も地元企業の中堅として地域社会を支えている人々とお会いすると、本学卒業生と紹介される方が意外に多いのに驚いたり、喜んだりしています。

最近、各大学でとくに重視されていることは、卒業生と大学との絆を深めたいということです。というのは、入学希望者の関心は、自分の選択した大学に入学し、さらにそこを卒業した場合、社会でどんなポジションを得られるかということです。そのためには、その大学の卒業生の動向が何よりもお手本になります。もちろん皆さんもそうだったでしょうが、大学を志望する動機には、専門的知識を習得したいという気持ちが一番にあげられるでしょうが、やはり社会に出てからどうなるかという気持ちが強いように思われます。とくに最近のような就職事情が厳しく、就職後も各人の能力が問われるようになれば、先輩の活動がどうしても気になると思います。幸いなことに本学では同窓生の皆さんとはこの「きずな」で結ばれています。今後も益々社会人としての経験を後輩に伝えて、本学の発展にお力を貸して下さいさるようお願いいたします。

皆さんがかつて学ばれたキャンパスは、目下大改築が行われております。現在の稲置講堂の奥に、地上八階建の近代的学舎を建設中で、来年秋には完成の予定です。研究室、教室、演習室、事務室は最新の設備と構造を備えた学舎となり、ランシステムを導入して情報先端技術を教育と研究に取り入れることにしています。現在の第一期工事に続いて学生会館、体育館も改築して、学生に快適な学生生活の場を提供する計画です。現在の稲置講堂は外来者から高い評価を受けていますが、この評判に負けないキャンパスにしようと思っているわけです。これからは敷地は多少狭くても、学生や教職員に通学に便利な都市型立地の大学がメリットが多いと評価されることになるかと期待しています。

私のもう一つの抱負は、地域に開かれた大学にすることです。大学の役割は、学生に対する教育の場であることはもちろんですが、それだけではなく、地域住民にも門戸を広げ、東金沢での文化の発信点になること、先輩諸氏の経験も講義に取り入れること、さらに外国の大学との提携を強化し、外国から講師を招いて、その話を地域の方々にも伝えられるようにすることなどを考えています。本学の果す役割については先輩諸兄からご助言、ご支援をいただきたいと思っていますので、よろしくお願いいたします。

常任理事会 活動だより

常任理事 南 歳幸

本年度は新規事業の展開や、既存事業の見直しなどで常任理事の集まる機会が例年より多く、また、会合では真剣な意見交換が続き、予定時間をオーバーすることがたびたびです。

ご存知のように、本年三月にスタートした同窓会「きずな」カード(クレジットカード)の導入による販促活動について、同窓会発足二十五周年にむけた会員名簿の発刊作業計画の検討、更には、常任理事会の各委員会運営の円滑化を計るための予算案の策定など、どの議案をとってもこれからの同窓会活動の指針となるものばかりといえます。また、明年開催の二十五周年に向けた記念事業や、同時に開催される同窓会総会の運営に関して、いかに魅力的な会とするかを担当常任理事を中心とした活発な意見交換や討論が続けられ

ています。

大学の現状とこれからの関係者を招いて意見交換



められました。今一步、金沢経済大学の元気不足が同窓会より提起されるなか、大学関係者の今後のビジョンと在学生の頑張りを期待する声とともに、同窓会としても、発展の為の様々な提案や後援を今後の視野に入れながら、交換会の継続を約束して散会となりました。

さる四月十五日(土)金沢スカイホテルにて、稲置理事長、山村学長、大井川広報室長をお招きして、大学の現状とこれからのテーマとした意見交換会を行いました。中田同窓会会長以下七名の常任理事の参加のもと、学舎の大幅な改築工事に伴う学園の様子や、今後の学生数の減少の対応策等につき、いかに前向きに取り組んで行くのかを学園の報告をお聴きしながら進



金沢経済大学同窓会 常任理事会役員及び組織

- | | |
|--------|-------------------|
| 会 長 | 中田邦雄 (社)石川県観光連盟 |
| 相談 役 | 東川孝典 金沢信用金庫 |
| 相談 役 | 高井 治 石川県競馬事業局 |
| 副 会 長 | 三好研一 朝三好堂工 |
| 副 会 長 | 菅村洋一 デザインオフィスモアレ |
| 総務委員 長 | 清水 実 金沢経済大学 |
| 総務委員 | 安藤 至 財団法人石川県青年会館 |
| 総務委員 | 鶴島秀樹 金沢スカイホテル |
| 総務委員 | 忠村健司 朝忠村水産 |
| 企画委員 長 | 松浦 勉 石川県観光物産館 |
| 企画委員 | 田中洋之 稲置学園 |
| 企画委員 | 小島一夫 ホリデイ・イン金沢 |
| 企画委員 | 西野正則 星陵女子短期大学 |
| 広報委員 長 | 紺谷澄夫 能登印刷機 |
| 広報委員 | 水谷内徹也 富山大学 |
| 広報委員 | 芝田義則 金沢経済大学 |
| 広報委員 | 南 歳幸 石川県立金沢中央高等学校 |
| 監 事 | 池尾 博 石川銀行 |
| 監 事 | 森 寿 金沢信用金庫 |
| 監 事 | 寺田利恵子 星陵女子短期大学 |

金沢経済大学

卒業生の誇り

同窓生通信



協和道路株式会社
代表取締役社長

小川 義 昭

(I部第一回生)

私たち第一回生が卒業したのは昭和46年3月のこと。はや24年の月日が流れてしまいました。振り返ると、快適かつ刺激的な学生生活でした。また、大学のサークルも「自分たちが土台を作っていけない」という使命感がみんなの気持ちにあったせいも、新しいキャンパスはいつも活気に満ちあふれていたように記憶しております。

私は「学業を離れたところで人間関係を作っていきたい」との思いから映画研究会を創部し、初代部長を務めました。たしか部員は30名ほどでした。どうするか。金沢大学をはじめとす

る他校との交流も盛んだった。ほか、秋の文化祭では映画館を貸し切りにして「名画祭」を開催するなど、活動はかなり積極的でした。その「名画祭」では運営費を捻出しようと、美大の友人に協力してもらってパンフレット作成を計画し、部員総出で喫茶店などから広告を集めてはみたものの、結果は見事に赤字。そこで、当時の理事長であった故稲置繁男氏に頭を下げて、不足分を補ってもらったこともありました。

近頃は同窓生とのふれあいが少なくなつたように感じ、3年前から年2回のペースで金沢経

済大学OB会ゴルフコンペをみんなど続けています。しかし、10回生以降の参加者が非常に少なく残念に思っています。同じ学舎で学んだもの同士、もっとコミュニケーションがあってもいいのではないのでしょうか。また、我が金沢経済大学は文系の私学の中では県下で最も歴史が古い学校であるにもかかわらず、OB会の名称が今だについておりません。同窓会の絆をいっそう深めるためにも、一刻も早い名称の決定を期待しております。

私ども協和道路株式会社は、一般国道をはじめとする県市町村道の道路建設・舗装工事を中心に土木工事、造園工事、アスファルト合材の製造販売、等の業務を行っております。特に、



自然環境や都市環境との調和を考えた景観舗装に関してはいち早く着目し、県内業者の中では先駆者的な存在と自負しております。透水性自然石舗装や、自然砂利道型舗装、カラー舗装など、美的空間を作りだすために様々な工夫や技術を取り入れながら、住みよい街づくりにこれからも努めてまいります。

最後になりましたが、今後の金沢経済大学のますますの発展をお祈りしながら、ペンを置くことにいたします。



【会社概要】

所在地 石川県金沢市
資本金 六千万円
設立 昭和五十一年
従業員 百四十七名

金沢経済大学OBゴルフ同好会 第5回コンペ報告

ゴルフ同好会の第五回コンペが、去る五月十四日(日)曇り空のなか白山カントリークラブの泉水コースで参加十八名(内初参加四名)にて開催されました。

今回は、平成七年十月八日(日)白山カントリー倶楽部松風コースにて開催。午前七時三十分のスタートです。多数の参加申し込みをお待ち申し上げます。

成績表

RANK	NAME	OUT	IN	GROSS	H. CP	NET
優勝	小川 義昭	38	44	82	7.6	74.4
2	島崎 衛	41	52	93	17.3	75.7
3	川崎 孝司	38	45	83	6.5	76.5

★ベスト gross 小川 義昭 (GROSS 82)

平成七年度総会開催のお知らせ

とき 九月三十日(土) 午後十二時半
ところ 稲置記念館

一、総会

一、学術講演会

京都大学教授 池上 惇 先生
「いま文化と経済を考える」ー文化経済学のすすめー

一、学園祭

九月二十九日(金)～十月二日(月)まで

お申し込みはもうお済みですか？

金沢経済大学同窓会「きずな」JCBカードが発行され、同窓生の皆様方にご案内を申し上げますが、興味をお持ちになりませんでしたか？カードなんてとお考えのあなた、もう重複して何枚かお持ちのあなた、でもこのカードはちょっとやそっとで持つことの出来ない貴重な1枚なのをご存知ですか。もし、どれもこれも同じとお考えのあなたに、金沢経済大学を卒業した学士として是非ご理解をして戴かなければなりません。このカードは、そう、金沢経済大学を卒業したあなただけが持つことを許されたカードであり、同窓生以外では手に入れないものなのです。

同窓会として皆様にお役に立つことを、と考えてご提案したこのカードを是非お持ちいただき、カードライフをエンジョイして下さい。難しいことはさておいて、同窓会事務局へお気軽にご一報下さい。



同窓会会長年間職務日誌

月日	行事名	場所
H6.5/23	稲置学園評議員会	金沢経済大学会議室
5/28	金沢経済大学同窓会役員会	金経大同窓会事務局
6/4	同窓会常任理事会 同窓会理事会	金沢スカイホテル 金沢スカイホテル
6/25	同窓会役員会	金経大同窓会事務局
7/23	同窓会常任理事会	ホリデイ・イン金沢
8/20	同窓会常任理事会	金沢スカイホテル
10/1	金沢経済大学経済学会講演会	稲置記念館講堂
10/3	稲置学園評議員会	金沢経済大学会議室
10/6	同窓会総会打合せ会	ホリデイ・イン金沢
10/10	同窓会ゴルフコンペ	白山カントリークラブ
10/15	同窓会総会・懇親会	ホリデイ・イン金沢
10/19	早稲田大学キャンパス見学	早稲田大学
10/20	上智大学キャンパス見学	上智大学
10/23	18th 北陸大学学園祭見学	北陸大学
11/26	稲置学園同窓会（大学・短大・高校）	金沢スカイホテル
H7.1/21	稲置学園同窓会（大学・短大）	ホリデイ・イン金沢
2/18	同窓会常任理事会	金沢スカイホテル
2/28	稲置学園評議員会	金沢経済大学会議室
3/11	金経大Ⅱ部卒業記念パーティー	ホテル日航金沢
3/14	金沢経済大学卒業式 金経大卒業記念パーティー	稲置記念館講堂 金沢全日空ホテル
3/17	同窓会石川県庁支部懇親会	センチュリー・プラザ
3/25	同窓会常任理事会	ホリデイ・イン金沢

平成6年度同窓会決算書

平成6年4月1日～平成7年3月31日

収入		支出	
科目	金額	科目	金額
前期繰越金	31,429,838	事業費	2,513,886
終身会費	5,370,000	人件費	476,000
受取利息	662,856	通信費	827,269
		消耗費	293,367
		在校生補助	610,000
		慶弔費	530,000
		雑費	8,000
		次期繰越高	32,204,172
合計	37,462,694	合計	37,462,694

同窓会会員名簿発刊作業を開始!!

第四号会員名簿明年刊行

五年を区切りとした同窓会会員名簿の編集作業にあたり、これまででの大学事務局および同窓会事務局での対応が、会員数約九千名となったいまでは到底不可能との、常任理事会での結論に基づき、専門業者への委託で

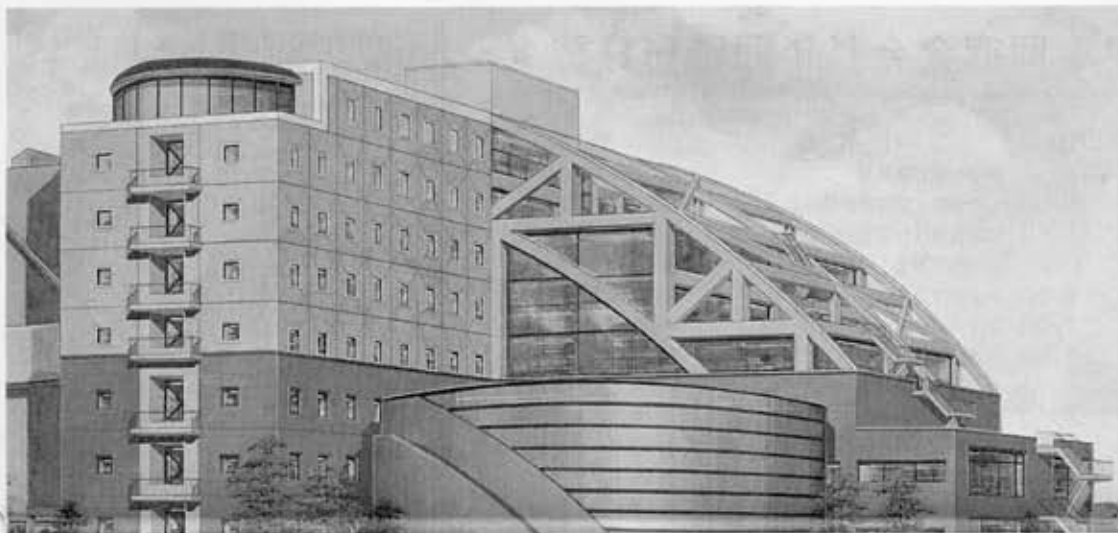
作業が進められることになりました。既に皆様のもとにご案内状が届いているものと思われませんが、何分所在の不明な会員数が増加する傾向にあり、少しでも心当たりのある方のご協力を求めています。

会員名簿の効用については今更説明は必要ないとし、まして、大学の今後や、同窓会の活動にとっては絶対に欠かすことの出ない財産といえます。会員お一人おひとりの活躍が、五年に一度の発刊により新しい歴史を刻んでいくとともに、共に学んだ旧友の動向を知る道標ともなります。

同窓会にとりまして、大きな事業として取り組んでいること

はもちろん、専門業者による徹底したフォローに期待をし、また名簿のデータ活用にも今後常任理事会での活発な意見交換で生かされるものと確信をします。





金沢経済大学新校舎完成模型図



同窓会事務局

応接セットに事務機三台、椅子九脚、キャビネット一本、電話機二台とワープロ一台の部屋に、今年ファックスとコピー機が仲間入りして、同窓会事務局の名に応えられる姿になりました。

明るく気持ちのいい部屋ですが、年に一度心の重いことがあります。

「きずな」や、総会の案内状を送りまして「転居先不明で配達できませんでした」「当て所に尋ねあたりません」と、束になって戻ってきた時です。

前年戻った折に親元や勤務先を探して問い合わせ判明した時のうれしい思いも水の泡の様に振り出しに戻ってしまいます。

電話帳と電話機が一番のパートナーです。

どんなことでも会員の皆様よりのお便りが何よりうれしく待たれます。

編集後記

平成七年一月十七日未明の阪神淡路大震災に始まり、円高ドル安行進、株価暴落、また、地下鉄サリン事件、国松警察庁長官狙撃事件、オウム真理教一斉捜査開始とその尽きぬ疑惑。戦後五十年の節目に見る大戦議論と、まるで天下の一大事が集中的にやってくる、世紀末の人類滅亡を予見させるような慌ただしさである。そして、また、中国の秘密裡の核実験、フランス、シラク大統領の核実験再開宣言と続き、これこそ地球破壊の本番のような騒ぎを大合唱している。

奢れる人類の利根的な現象に毎日犯され続けながら、慣らされていくことに無常を感じてしまふのは私だけなのだろうか。

新しい世紀を迎えることに、果敢に挑戦し、日々の営為を通してこの人類のための歴史に多少なりとも貢献出来ればと考えるのだが、同窓生諸君の日常は如何なものだろうか。

きずな第六号をお届けします。ご一読のうえ、ご意見をいただければ幸いです。